

平成23年度 学校評価計画表(唐津市立巖木小学校)

1 学校教育目標
～はずむ学校～ 『豊かな心を培い、夢に向かって、主体的・創造的に活動する子どもの育成』

2 学校経営ビジョン
[四つのあいことば] 1 しっかり勉強 2 元気なあいさつ 3 きそく正しい生活 4 きれいな学校 [目指す児童像] 1 親切で、礼儀正しい子ども(思いやり) 2 よく考える子ども(学習) 3 たくましい子ども(体力) [目指す職員像] 1 よく聞き、よくほめ、信念をもって導く 2 人間性豊かで夢を語る 3 使命感に燃え創意工夫した教育活動を実践する

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
①基礎・基本の指導を徹底し、学習内容の確実な習得 ②心の教育(一人一人を大切に人権教育)の深化と充実 ③英語活動・外国語活動の時間の効果的な運用 ④日常の遊びや体育の授業等を通して健康な体作りと体力の増進 ⑤校内研究会の充実並びに外国語活動の研究実践・深化	○学校教育目標を具現化したものとして「きれいな学校」を加えた四つの合い言葉の周知を職員・児童・保護者に図ってきた。数値目標を達成し、周知が図られた。今年度は、実践ができるように児童の自己評価等を取り入れながら取り組んでいきたい。 ○学力向上に向けては、児童の実態にあった指導法改善に取り組んだ。算数科においては、実態に合わせてT Tだけでなく少人数授業にも取り組み、C R Tでは、ほとんどの学級で平均を上回っていた。今後も、実態に合わせた取り組みを行っていききたい。 ○昨年度は、天川分校の職員数も減り、飛び複式となり、担任も初めての分校ということもあり、毎水曜日に教頭が分校へ行き連携を図っていった。また、分校職員も校内研修等で本校へ来ることも多かった。児童の本・分校交流も計画的に行うことができた。分校は、極少人数のために児童同士での学び合いの機会が少なく、今年度は、学習での交流の機会も増やしていききたい。 ○道徳の時間やおひさま朝会の充実、読書活動の推進、Q-Uテストの活用を行いながら心の教育に取り組んできた。今年度もQ-Uテストや児童アンケート等で実態把握を行いながら、心の教育の充実を図りたい。 ○昨年度は「魅力ある学校づくり」の指定を受け、研究発表会等に取り組みながら、外国語活動の充実を図ってきた。今年度、指定はなくなったが、昨年度の研究を生かし、時間の運用と共に、内容の充実を図っていききたい。

5 総括表

① 基礎・基本の指導を徹底し、学習内容の確実な習得						
領域	評価項目	評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
学校運営	学校経営方針	学校教育目標の達成	学校教育目標を児童に分かり易く具現化した四つの合い言葉「しっかり勉強」「元気なあいさつ」「きそく正しい生活」「きれいな学校」の達成率を80%にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りや学校からのプリントに掲載したり、合いことばを教室や廊下に掲示したりして、四つの言葉の周知を図る。 ・育友会総会、学級懇談会、育友会評議員会等で、家庭や地域に説明し周知を図るとともに達成に向けて協力を得る。 ・学校行事や学級指導等あらゆる機会を通し、具体的に指導するとともに、全校朝会等で、学期に1回以上は、児童に自己評価をさせ、実践意欲の高揚を図る。 		
教育活動	学力向上	T T, 少人数授業等指導方法の改善・充実	指導方法の改善充実を図り、唐津市基礎学力テストで全員合格、C R Tテストでは全領域で全国平均以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科を中心に全学年T Tまたは少人数授業を実施し、指導方法の改善・充実を目指す。 ・学力調査の分析を全職員で行い、改善策を練っていく。 ・スキルタイム・宿題等で、復習を確実にし、基礎・基本の定着を図る。 ・個に応じたきめ細かな指導を行い、学習規律の定着を図る。 		
特定課題	本・分校連携	本校・分校連携の充実	職員会議や学校行事の中で合同の機会を学期に3回以上行い、職員・児童の交流を深め、連携の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊訓練、交流会、唐津市教育の日等の行事に関わって事前に協議を行い内容を充実していく。 ・本校の全職員が1回以上分校に行き、分校と交流を図る。 ・本・分校同学年での交流を計画実施する。 ・本・分校間の学級通信の紹介を行う。 		
	低学年学習環境の改善充実	家庭学習の充実	家庭学習の充実を図る。学年×10分プラス20分の量の宿題を毎日だし、提出率90パーセントを目指す。	毎日宿題を点検し、その日のうちにやり直しをさせ、児童に渡すようにする。		

	評価項目	評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
② 心の教育(一人一人を大切にすると人権教育)の深化と充実						
教育活動	心の教育	道徳教育の充実	道徳の時間を中心として、道徳教育の充実を図り、道徳的心情を高め、道徳的実践力を養い、「学校が楽しい」と思える児童100%を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の道徳の時間や月1回のお日様朝会(人権教育)を年間計画に基づき確実に実施する。 ・「心のノート」を計画的に活用する。 ・授業参観日に道徳の授業を全学年公開する。 ・読書数年間一人平均100冊を目指し、読書に親しみ、豊かな心を培う。 		
③ 英語活動・外国語活動の時間の効果的な運用						
学校運営	教育課程	英語活動・外国語活動の効果的な運用	・毎週1回のALTとの打合せの時間の確保と他教科や行事との関連を図った活動を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年グループでの打ち合わせが確実にできるように、出授業の時間をそろえ打ち合わせがしやすいようにする。 ・前月までに事前の打合せの時間を教務と分校主任、ALTで確認する。 ・6月中に他教科や行事との関連を図った年間計画の見直しを行うとともに、実施後は気づきを朱書きし、来年度に活かせるようにする。 		
④ 日常の遊びや体育の授業等を通して健康な体作りと体力の増進						
教育活動	健康体づくり	運動習慣・食習慣の改善や定着化	<p>体育的行事や縦割り活動を通して、体力の保持増進に努め各種運動能力において、前年度比5%~10%の向上をめざす。</p> <p>病気や安全、食に対する理解を深め、朝食の摂食率100%を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果を基に、指導法の工夫と改善を行い、基礎体力の確立を目指した授業を実践する。 ・体育大会やマラソン大会等において課題に応じた練習計画を立て、身体能力を高めるとともに、集団行動における自主性や協調性を養う。 ・健全な食習慣、生活習慣の確立のため、学級指導等による健康安全教育を計画的に行っていく。 		
⑤ 校内研究会の充実並びに外国語活動の研究実践・深化						
学校運営	資教質職向上	外国語活動の推進	<p>外国語(英語)活動の授業研究を中心とした校内研究の推進を図る。</p> <p>教師自身の英語への苦手意識をなくすための方策を研究していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校で授業に取り組み、保護者や地域への情報の発信を年6回する。 ・Classroom English等の研修の推進を行い、実際の授業の中で積極的に使えるようにする。 ・ICT教材の効果的な活用をめざした授業づくりを推進し、誰もが簡単に使えるように工夫をする。 ・小学校から中学校への円滑な移行を図るために、全校児童へ年2回、中学校へ進学した1年・2年生へ年1回の意識調査を行う。 		

6 総合評価

7 来年度の改善策